

令和5年度 長岡高校スーパーサイエンスハイスクール

名 称	SSRI 「課題研究基礎」 発表会 SSRA 「課題研究 A 」 中間発表会
期 日	令和6年3月19日(金) 1～3限(8:50～11:40)・・・普通科 3～4限(10:50～12:40)・・・理数科
会 場	本校1年生各教室
対 象	1年生全員(普通科・理数科)
目 的	<ul style="list-style-type: none"> “仮説を立てて、実験を行い、レポートにまとめ、発表する“という科学研究のプロセスを体験する。 理数科は、来年度の課題研究に向けて研究の方向性や、今後の展望について発表する。
内 容	<p>○普通科は8月から物理・化学・生物・地学・数学の各分野に分かれ行ってきた課題研究の成果をまとめ、各班による発表を行った。8月から、オリエンテーション1時間および計17時間の授業を実施。今回はその内容をまとめ、各クラス10～11班の発表を行った。</p> <p>○理数科サイエンスコースは2会場に分かれ、各班の調べた内容とこれからの研究方針を発表した。メディカルコースは選択教室1にて、研究の中間発表を行った。いずれのコースも活発な質疑応答が行われた。</p>



発表の様子(普通科)



発表の様子(理数科・サイエンスコース)



発表の様子(理数科・メディカルコース)

<p>アンケート 評価</p>	<p>発表会の後、17の項目について自己評価を行った。その中で自分に最もよくあてはまると答えたのは、 「ほかのメンバーと協力できた。」86.1% 「自主的・意欲的に取り組んだ。」86.1% 「教科書にはない実験・研究ができてよかった」81.8% の順だった。 また、自分にどのような力がついたと思うか、の問いには上から、 ①「チームワークを活用する力」 ②「ものごとに対する好奇心をもつ力」 ③「課題を見つける力」 となった。 科学に対する興味・感心はこの授業の前と比べてどう変わりましたか？の問いには、90.9%の生徒が「上がった」と答えた。</p>
<p>感想など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・思うようにいかない実験結果に戸惑ってしまうことも多かったが、先生やメンバーとよく話合って発表として形にすることができた。 ・プレゼンを自分たちで一から作る経験が無かったので勉強になった。他の人の発表で興味深いものがたくさんあったので楽しかった。 ・課題研究の後半になって消えているデータや名前が変わっていて何の実験かわからないデータが出てきて、最後は駆け足になってしまった。次年度からの研究はこのようにならないよう、いつ、どのようなデータを取ったのかを手記で残したいと思う。 ・班の仲間と一緒に楽しく研究をし、課題に対する理解を深めながら、わかりやすいレポートの作成も学ぶことができた。 ・時間があまりとれなくて大変だったがそれでも皆で集まって自分たちの研究分野について考えるという貴重な経験ができて良かった。また、相互評価票を見て自分たちに無い視点を持っている人がたくさんいてとても参考になり、今後の研究に生かしていきたいと思った。 ・班のメンバーと協力して課題を発見・解決し、分担してスライド作成をすることができた。まだ誰も見つけていないことを研究するのは初めてのことなので緊張した。スライド発表では指摘された内容が多く、様々な視点から考えられていなかった。今後実験を行うが、改善点も多いので対策していきたい。